

札幌社保協 FAXニュース

2008年 4月7日(月)
社保協事務局 発行
TEL823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

4月の国保・
介護110番は
4月24日(木)
です。

これでは通院や通所ができなくなる! 障害者交通費助成制度「見直し」(改悪)に、怒りと切実な声

障がい者の声に逆行する改悪案

札幌市は2/26の市議会で、障がい者交通費助成制度を大幅に見直す(改悪)案を発表。今まで無制限で利用できた福祉乗車証・定期券を廃止し、ウィズユーカードやタクシー券・ガソリン券などの選択で、上限も年間24,000円程度に抑えるというものです。障がい者の間からは大きな驚きと怒りが出されました。特に07年8月の制度のアンケートでは、事業の充実-11.6%、現状維持-64.8%と回答があったにもかかわらず、それに逆行する改悪提案でした。市では08年度検討の上、09年度から実施をめざしています。



4月5日、交通権を考える連絡協議会・障害者の生活と権利を守る北海道連絡協議会による、「市の障害者交通費助成制度見直し」の説明と意見交換会が開かれました。会場の視聴覚障がい者情報センターには開会前から続々と障がい者・家族の方々が詰めかけ、会場から溢れる200人が参加しました。

障がい者は外出するなと言うのに等しい

市からは岡田障がい福祉担当部長ら4人が出席、制度の「改定案」を説明しました。これに対し、身体・視覚・聴覚・知的・精神のそれぞれの障がい者や家族から、質問と共に多くの怒りの声が出されました。「今でさえ足りない助成をさらに削れば、作業所へ通えない」「通院に使っているが、減らされたら通院できない」「自立支援法で負担が増えている、さらに交通費助成が削られたら、障がい者は外出せず家にこもっているということか」など等の切実な怒りの声が続きました。

市は「障害の程度でなく公平に分かり安いものとした」「財政難の中、制度を維持していくために増えていく予算を制限せざるを得ない」との回答に終始しました。しかし一方で「今回の案はあくまでタタキ台、皆さんの声をきちんと聞いて検討していきたい」と答えました。

障がい者と家族 に重い負担



東区のMさんの発言：「私は知的障害の娘を、毎朝白石の作業所まで送っています。改悪されると、福祉ウィズユーカードが月2枚2,200円分しか給付されません。片道360円の交通費で往復分使えますが、それでも6日しか通えないこととなります。後を全て自己負担ということになれば、年間15万円の負担増となります。」

それだけでなく障がい者自立支援法で負担が増えており、親の年金で支えるには限界があります。娘の労賃は1日300円ほどです。これでは交通費もまかなえません。今までは福祉パスでしたので改札機に通せばいいだけでしたが、ウィズユーカードで金額不足になったら、重度の知的障がい者では補充するという対応はきわめて難しいです。障がい者の社会参加を狭めるようなことは絶対やめてもらいたい」

4.15年金支給日宣伝

最低保障年金の確立を!

「後期高齢者医療制度」の中止・撤回!

大通西4丁目宣伝 12:15~12:45

市内各区でも駅頭や銀行・スーパー前で宣伝が行われます。ご参加ください。

介護・福祉職員増やして! 北海道連絡会結成のつどい

4月19日(土) 18:30~21:00

エルプラザ・ホール

“働いてみたい” “希望を持って働き続けられる” 職場に!